

環境活動レポート

(対象期間：第4期 2010年9月～2011年8月)



発行日：2011年12月16日

承認	作成
	

長野県 茅野市 豊平 443-2

株式会社 芳沢スクリーン

《 はじめに 》

当社におけるエコアクション21の活動も第4期(2010年9月～2011年8月)を終了しました。マネジメントシステムにおけるPDCAの基本を学び、実践し、大きな成果が得られました。第4期も更なる不良削減、業務改善が進みました。特に有機溶剤を使用する作業環境において、使用する溶剤成分の見直しを行い、本質安全化が向上したことは大きな成果です。

東日本大震災3.11の教訓に学び、想定外としていた事業リスクも考えねばならない時代が到来しています。環境がさらに重要な時代、環境と経営を一体化することを考えています。マネジメントシステムの基本は、一人一人が自分の仕事を理解し、問題点をみつけ、改善することと考えます。今後はさらに、組織に内在する根本的問題に取り組んでいきたいと考えます。

いままでの改善活動は管理者が中心のレベルでした。第5期の活動は、マネジメントシステムの考えをさらに、組織の下階層に普及させたいと考えています。

株式会社芳沢スクリーン
代表取締役 芳沢 明

《 来期の重要テーマ 》

✓顧客の事業にいかに貢献できるか、一人一人が考える

✓業務におけるソフト面の改善を考える

✓データを把握し、理屈で改善する

◆ 事業活動の概要と環境活動実施体制

事業所名・所在地

株式会社 芳沢スクリーン
長野県茅野市豊平 443-2

環境保全関係の責任者及び担当者・連絡先

経営者：代表取締役 芳沢 明
環境管理責任者&事務局：取締役工場長 折井 明
TEL：0266-73-5568
FAX：0266-72-0035
E-mail：whole@y-screen.co.jp

事業活動の内容

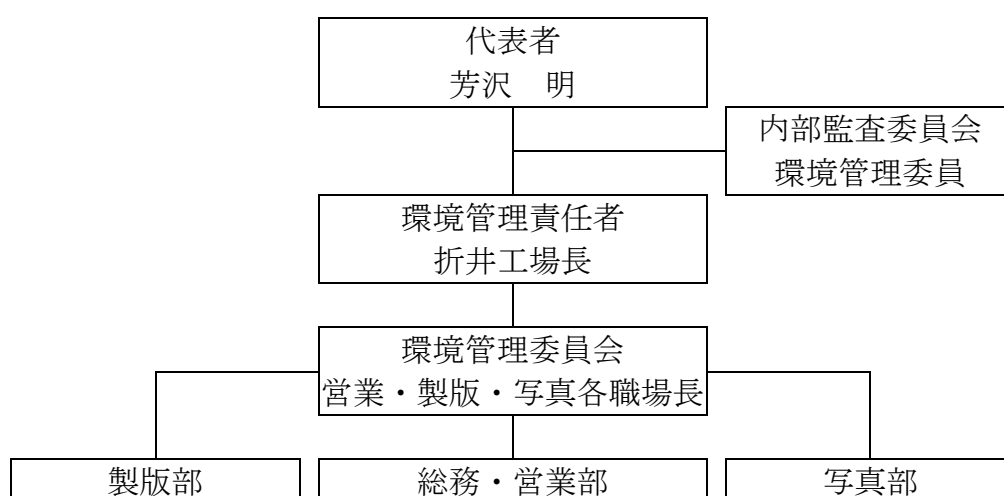
スクリーン製版、写真製版、検査装置等開発製造、各種インク販売、
サインディスプレイ、大判カラー出力

事業規模

総売上高：262 百万円
従業員：19 名
延床面積：709m²
敷地面積：1,160m²

環境活動実施体制

環境マネジメントシステム組織図



◆ 環境方針

環 境 方 針

【基本理念】

「産業と自然」との共生

リサイクル問題に正面から取り組み
静脈産業として社会に環境配慮活動を提案し
社会貢献を実践する。

【環境方針】

1. 当社の事業活動により生じる環境への影響をしっかりと把握し、継続的改善及び環境汚染防止に努めます。
2. 環境に関しての法律、協定を遵守します。
3. 当社の事業活動によって生じる環境影響については、次の視点から適切な環境目的及び目標を設定し、活動していきます。
環境目的、目標は定期的に見直しを行います。
 - ①紙のリサイクル活動を提案し、拡大する
 - ②省資源、省エネルギーに取り組む
 - ③使用化学物質及び廃棄物を削減し、適正に処理する
 - ④作業環境の安全衛生の向上に伴い、環境汚染防止に務める
4. グリーン購入・グリーン調達を積極的に進めると共に、購入先への要望・要請も合わせて取り組む。
5. 環境に配慮した製品を生産または販売します。
6. 地域周辺への環境保全に配慮し、地域から信頼される事業活動を行います。
7. 環境方針は、全社員に周知徹底し、社外へ公開します。

2010年9月1日

株式会社 芳沢スクリーン

代表取締役 芳沢 明

◆ 負荷の自己チェック状況と評価

環境への負荷			単位	第3期 (2009年9月～ 2010年8月)	第4期 (2010年9月～ 2011年8月)
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素		Kg-CO ₂	98,374	86,318
			Kg-CO ₂		
			Kg-CO ₂		
②廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	(再生利用)	Kg	2,572	3,013
		(単純焼却)	Kg	3,162	3,166
		最終処分量	Kg	226	300
	産業廃棄物	(再生利用)	Kg	2,107	2,123
		(単純焼却)	Kg		
		最終処分量	Kg		
③-1 総排水量	公共用水域		m ³		
	下水道		m ³	665	657
③-2 水使用量	上水		m ³	665	657
	工業用水		m ³		
	地下水		m ³		
④化学物質使用量	トルエン		Kg	607	315
	ジクロロメタン(塩化メチレン)		Kg	41	828
	ハイドロキノン		L	12	42
⑤エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)		MJ	146,454	143,327
	化石燃料		MJ	470,226	310,540
	新エネルギー		MJ		
	その他		MJ		
⑥物質使用量	資源使用量		Kgt	9,963	9,414
	循環資源使用量		t		
⑦サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質等		t		
	水の利用量		m ³		
⑧総製品生産量または総商品販売量	製品生産量等(売上高)		円	166,842,328	174,772,218
	環境負荷低減に資する製品等		t		
	容器包装使用量		t		

※ 購入電力の排出係数は、平成20年度の中部電力株式会社・実排出係数の値で計算しました。

◆環境目標とその実績(第4期)

当社ではエコアクション21導入時(第1期)に、その前年度を基準として3年間(第1期～第3期)の中期目標を立てました。第1期～第2期の2年間で活動の成果が上がり、第3期開始時に新たに第2期を基準として、中期目標を見直し全面的に改訂しました。

第4期が終了し、削減する事項には一部限界が表れつつあります。各部の業務に内在する問題を見つけ、改善するところに今後の改善対象があると考えています。

No.	項 目	中期目標 (第3期～第5期)	第4期目標	第4期実績	評価
1	紙使用量	現状維持	現状維持	20.9%増加	×
2	消費電力	3% 削減	1% 削減	3.8%削減	○
3	廃棄物	現状維持	現状維持	0.4%削減	○
4	自動車燃料	3% 削減	現状維持	9.7%削減	○
5	水道使用量	3% 削減	1% 削減	4.4%削減	○
6	化学物質の削減(作業環境の安全衛生の向上)	現状調査後削減(環境改善)	現状調査	調査の中で化学物質を変更し環境改善が達成された	◎
7	事務用品のグリーン購入	グリーン購入対象品目調査	調査後購入可能品購入	リストは作成していないが、グリーンであることを調査し、購入	◎
8	製品、サービスに関する環境への取り組み	有害化学物質削減による生産の検討 配送ルート効率化	含有有害物質調査、使用方法、変更の検討 配送ルート計画	有害性の少ない化学物質に変更した 毎朝配送ルートを検討し、効率的に配送した	○
実施項目(現状維持除く)					
消費電力削減		・製版部コーティング予定時間の見直し ・製版部、写真部・不良の低減 ・製版部、写真部・作業効率 UP ・コンプレッサーのエアリー漏れ防止			
水道使用量の削減		・製版部・前処理洗浄方法の見直し ・設備水漏れ点検の実施			
不良率削減 (消費電力削減) (水道使用量削減) (紙使用量削減)		1. 製版部・張り加工不良 0.1%以下 ・ボンド乾燥条件、ボンド厚さ、製品取扱の確認 製版部・コーティング全体不良 1.5%以下 ・前処理作業方法・作業室内、作業者ホコリ、ゴミ確認 ・ハンドクリーナーによるゴミ取り確認			

	・乾燥機内ゴミ、ホコリの確認・掃除方法の確認 製版部・焼きつけ不良 0.1%以下 ・注文書、フィルム膜面、版種確認・PS版ゴミ確認 2. 写真部・編集作業ミス(指摘事項) 0件 ・チェックリストに準じた作業方法の遵守 ・指摘事項、不良発生時の対策会議実施 写真部・フィルム不良 3%以下 ・作画不良、フィルムカットサイズ不良、修正不良の低減 3. 取り組み状況報告(是正処置報告書)毎月品質会議 4. Fコスト算出、揭示。作業効率、削減効果確認
化学物質の削減 (作業環境の安全衛生の向上)	・製版部作業環境の有機溶剤蒸気濃度調査 ・有機溶剤使用方法による削減方法の検討 ・環境配慮製品の検討
事務用品のグリーン購入	・グリーン購入対象品目調査
製品、サービスに関する環境への取り組み	・有害化学物質削減による生産の検討 ・配送ルートの効率化

【環境目標の達成状況と次年度の取り組み内容】

a. 紙使用量

写真部仕事量増加に伴い紙使用量が増加した。来年度は再度、現状維持の目標を設定する。

b. 電力(不良率低減)

《製版部》コーティング時のバケットサイドカバーからの乳剤漏れ対策としてコーティングマシン改造実施、バケット角度が上がりサイドカバーからの乳剤漏れが無くなり、すくい取りの必要がなくなりました。乳剤の塗布量が増しコーティング速度が上がり作業効率がUPした。

《写真部》客先指摘不良発生時毎に品質会議を実施し、不良撲滅の対策をする。

作業効率向上を中心に来期の目標を検討する。

c. 廃棄物

現状を維持し、ゴミ、廃棄物の分別収集の徹底を継続する。リサイクル可能品を検討し、回収業者へ確認し依頼をする。

廃棄物については、現状維持を継続する。

d. 自動車燃料

エコカー導入と納入、営業活動が計画的に効率良く出来た為、前期より削減が出来ました。現状を維持し、アイドリングストップ、冷房の控えめ使用、急加速急発進の防止を心がけ取り組みを継続していく。

e. 水道水

前期の問題点で設備不具合による漏洩事故等は、毎日の点検により発生しなかった。点検をさらに継続する。

来期は、製版部における不良率低減により更なる削減を継続する。

f. 化学物質

混合比の変更だけでは、トルエン削減は出来ない為、トルエンレス製品への切り替えをし、作業スタートし変更後の作業環境測定ではトルエンは検出されず、管理区分は 1(適切)となった。

来期は、トルエン以外の化学物質を調査し、使用量の多いものを削減する。

j. 不良率の削減

製版部:張り工程 3 期 4.1%→4 期 2.7% 1.4%減

コーティング工程 3 期 49.4%→4 期 20.6% 28.8%減

焼き工程 3 期 3.3%→4 期 4.0% 0.7%増

張り、コーティング工程については大幅に不良率の削減ができ電力、水の削減につながった。焼きについては機械操作ミス、注文書確認ミス、ゴミの焼付け不良が増え不良率は増えた。

写真部:不具合発生、指摘事項発生時に対策会議を開き内容の把握、傾向を調査し是正処置を検討、実施、確認し不良の削減をする。

製版部、写真部とも毎朝の朝礼で不具合発生の報告、毎月の品質会議により不良内容の確認、把握、傾向を調査しタイムリーに是正処置をする。

h. グリーン購入

コピー用紙、ファイルについては、事前に調査し、グリーン購入適合品を購入した。

来期はグリーン購入の考え方を拡大することを検討する。

◆ 環境教育の実施／緊急事態の特定、準備、訓練

環境活動を具体的に実践するためには、一人一人の認識を改善する必要があります。

このような考えから、社内教育、社外教育を充実して計画・実施しました。特に職長教育を受講し、マネジメントシステムを活性化するための方法を研修しました。この成果は、第5期の活動に反映します。

第4期に実施した環境教育は下記のとおりです。

教育訓練名称	対象者 実施日	講師・主催	内容
全社員教育 新入社員教育 外国人労働者教育	全社員 (2011/8/30)	環境管理責任者	環境方針の周知徹底、 新入社員教育として、各部署における取り組みについての説明
有機溶剤の取り扱いについて	全社員 (2011/8/30)	有機溶剤作業主任者	有機溶剤使用時の注意点 (接着剤、シンナーの取扱いについて)
職長教育、安全衛生責任者教育	折井明 (2011/1/25,26)	諏訪労働基準協会	職場管理の活性化
避難訓練	全社員 (2011/8/30)	環境管理責任者	緊急事態対応の訓練(地震)
漏洩訓練	写真部 (2011/8/30)	環境管理責任者	緊急事態対応の訓練(漏洩)

当社では緊急事態対応として、火災、地震、停電、大雨、台風の5項目を特定しました。

第4期は、東日本大震災3.11の教訓から、地震・火災に関する緊急事態訓練を2011年 8月行いました。手順の周知、見直しを行い、改めて、全社員がその必要性を認識しました。

【緊急事態対応の訓練(火災)】



【緊急事態対応の訓練(漏洩)】



◆ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用となる環境関連法規は下記の通りです。2011年11月19日、遵守の確認を行い、特に問題はありませんでした。また関係当局よりの違反の指摘は、過去5年間ありません。

適用法	法規制対象	遵守状況
廃掃法	廃棄物管理	○
消防法 諏訪広域火災予防条例	危険物第4類第一石油類 シンナー、ボンド	○
茅野市公害防止条例 (騒音・振動規制)	空気圧縮機	○
下水道法	下水道	○
毒物劇物取締法	シンナー、ボンド	○
フロン回収破壊法	特定フロン類	○

◆ 経営者による評価の実施

2011年11月28日に経営者による取組みの見直しを行い、次の結果が得られました。

インプット(審議事項)	アウトプット (見直し結果:社長指示)	担当	期限
【内部監査の結果】 監査報告書により報告 製版部 : 紗張り作業環境における 接着作業の溶剤蒸気濃度を改善 しました。 トルエンレス接着剤への変更により 管理区分第3管理区分(適切でない) から第1管理区分(適切)と改善 されました。 写真部 : 顧客クレーム改善	混合時の防臭マスクの着用、局所 排気装置を、さらに検討する。 思い込みによる同内容の指摘事項 再発防止の為、チェック方法の改 善、掲示により改善を確実化する。	製版部 製版部	上半期 7月
【不適合事例及び是正処置】 製版コーティング工程におけるバ ケットサイドカバーからの乳剤漏れ があり、改善した。バケット角度UP の改造により漏れは改善した。1回 のコーティング量が増加しコーティ ング速度が上がり作業効率が上が った。	改造による不具合点を予測して確 認する。	製版部	上半期
【地域住民などの利害関係者から の苦情及び是正処置】 なし	苦情発生時に速やかな対応に留意 する。	環境責 任者	—
【法規制、遵守評価、社会状況の 変化】 なし	毎年8月ネット検索により最新版を 入手する。	環境責 任者	8月

インプット(審議事項)	アウトプット (見直し結果:社長指示)	担当	期限
【目標の達成状況】 削減数値目標に対する達成状況 ・紙使用量削減 現状維持 実績 20.89%増加 ・消費電力削減 目標 1% 実績 3.78% ・廃棄物削減 現状維持 実績 0.44% ・自動車燃料削減 目標 1% 実績 9.66% ・水使用量削減 目標 1% 実績 4.38%	電力使用量、廃棄物、自動車燃料、水使用量に関しては活動の成果が上がり、目標を達成することができた。来期以降も更に継続して取り組みを図ること。 紙使用量については、基準年、目標値の見直しの必要性を検討すること。	環境責任者 環境推進委員	12月 12月
【負荷の自己チェック、取組の自己チェックの結果】 1. 製版部、紙管リサイクルをメーカーへ依頼、今期より実施しました。 2. 感染症予防の目的で各部署、トイレ、食堂でのタオルペーパーの使用を2月より開始しました。分別収集によりリサイクルしています。	各部門の取り組みを、さらに活性化すること。	環境責任者	12月
【改善の提案】 改善提案がたくさん出された。製版部では、作業効率UPがあった。写真部では、改善会議の実施により業務の改善ができた。	継続的にPDCAを回し、改善提案を推進すること。	環境管理推進委員	—